総合計画策定に向けた高校生とのタウンミーティングでいただいた意見と市の対応

『テーマ：未来の理想的な松山について』　令和5年10月1日（日）14：00～

（※）総合計画は市政の最上位の計画で、行政と市民の共通の指針となるものです。令和７年度からスタートする「第７次松山市総合計画」の策定に向けて、
将来のまちづくりの主役になる若い世代とのタウンミーティング特別版を開催し、松山市の次代のまちの姿を描くため、意見交換しました。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ☆ | 意　見　の　内　容 | 対応可能性と対応時期 | 対応策または不可能な理由等（新たな総合計画の次代のまちの姿の検討に向けた方向性） | 担　当　課 |
| 1 | 若者や外国人観光客の方、県外から来られる方にとって、市外からの交通の便が高まり、市内の回遊性が高まってほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 　現在、ＪＲ松山駅周辺の整備に合わせて、高速バスを快適に利用できるよう、バスタプロジェクト[[1]](#endnote-1)を進めているほか、松山市駅前広場では、バスターミナルの集約や車道を通らなくても路面電車と郊外電車の乗り継ぎができるようにするなど利便性を高める取り組みを進めています。市内外の人が便利でスムーズに移動できるよう、新たな総合計画の策定の中で次代のまちの姿を検討します。 | 企画戦略課総合計画・地方創生担当089-948-6213 |
| 2 | 野球を中心にさまざまなスポーツを観戦でき、市民の運動時間が長くなるなど、スポーツが盛んなまちになってほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 松山市では、愛媛ＦＣや愛媛マンダリンパイレーツ、愛媛オレンジバイキングス等の地域のトップスポーツチームを財政面や施設面で支援しているほか、プロ野球オールスターゲームの誘致などに取り組んでいます。また、スポーツ指導者や審判員の養成、愛媛マラソンやトライアスロン中島大会への支援などで市民スポーツの振興にも取り組んでいます。誰もが気軽にスポーツに親しめる次代のまちの姿を新たな総合計画の策定の中で検討します。 |
| 3 | アニメ・ゲームの聖地になってほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 松山市では道後温泉本館保存修理工事を観光資源化する「道後ＲＥＢＯＲＮプロジェクト」で、「再生」をテーマに手塚治虫さんの「火の鳥」とコラボレーションしたほか、「まつやまお城フェスタ２０２３」では、松山城ゆかりの人物をアニメキャラクター化し、人気声優が声を担当するなど、日本の漫画やアニメ文化と掛け合わせて、本市の魅力を広く発信しています。若者が行きたくなる場所が増えるなど魅力あふれる次代のまちの姿を新たな総合計画の策定の中で検討します。 |
| 4 | 高齢者の健康管理に役立つロボット等が普及して、使い方が分からず困っている人を手助けする優しいまちになってほしい | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 松山市では、高齢者がイベントに参加して、楽しみながら健康管理ができる「高齢者いきいきチャレンジ」で、令和５年７月からアプリを導入し、高齢者の健康増進に取り組んでいます。また、「オール愛媛」でのデジタルデバイド対策[[2]](#endnote-2)の一環で、郵便局と連携したスマホ相談窓口を設置しているほか、まちづくり協議会や公民館、高齢クラブ等の地域コミュニティがＬＩＮＥやＺＯＯＭを活用するなど、デジタル化を進める際に、課題やニーズをヒアリングしながら伴走型の支援をしています。行政や企業をはじめ、誰もが身近で困っている人に配慮できる次代のまちの姿を新たな総合計画の策定の中で検討します。 | 企画戦略課総合計画・地方創生担当089-948-6213 |
| 5 | ＡＩを活用した教育をもっと取り入れてほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 松山市では国のＧＩＧＡスクール構想[[3]](#endnote-3)に基づき、令和２年度末までに小中学生全員に１人１台端末を整備しています。端末を活用してデジタルドリルで宿題をすることで、習熟度に合わせた学習に取り組むことができ、不登校気味の児童・生徒への学習支援にもつながっています。新たな技術の活用で、子どもたちの将来の選択肢が広がるよう、新たな総合計画の策定の中で次代のまちの姿を検討します。 |
| 6 | 誰もが自転車で安全に走りやすいまちになってほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 松山市では、小中学生をはじめ、幅広い世代を対象にした交通安全教室や関係機関・団体と連携した啓発活動を行っているほか、歩行者と自動車・自転車の接触などの危険を回避するため、地元の要望を基に歩道やカーブミラー、ガードパイプの整備などを進めています。自転車以外の交通手段も増えることが想定される未来の松山で、誰もが安心して快適に移動できるよう、新たな総合計画の策定の中で次代のまちの姿を検討します。 |
| 7 | 公共交通機関を使いやすくしてほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 松山市では、公共交通事業者が低床の路面電車・ノンステップバス車両を導入する際や、駅や電停でスロープを付け、段差を解消する際のバリアフリー化など環境整備を支援しているほか、バス路線の赤字に対する補助を行うことで、公共交通の確保や利便性の向上につなげています。公共交通の利便性が向上し、誰もが安心して快適に移動できるよう新たな総合計画の策定の中で次代のまちの姿を検討します。 | 企画戦略課総合計画・地方創生担当089-948-6213 |
| 8 | ごみゼロで自然に優しいまちになってほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 松山市では、毎年７月の第２日曜日を「松山のまちをみんなで美しくする日」に定め、自宅周辺等のごみを拾う「市民大清掃」を行っています。また、こども向け環境教室「サマー！エコキッズスクール」やまつやまＲｅ・再来館での講座やイベント等を通じて、環境保全の意識の向上に取り組んでいます。環境に優しく、美しいまちづくりが進むよう、新たな総合計画の策定の中で次代のまちの姿を検討します。 |
| 9 | 若者が農業に興味を持つ機会が増えてほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 松山市では、中学生が職場体験学習を行う「まつやまジョブチャレンジ」で農林水産業や地元で働くことの魅力を知るきっかけづくりをしています。また、学校給食では「とれたて感謝の日」に、地元生産者の話を聞き、その食材を使ったメニューを食べられるほか、松山鮓などの郷土料理を献立に取り入れるなど、食育に取り組んでいます。農林水産業の魅力が多くの方に伝わり、松山で働きたいと思う人が増えるよう、新たな総合計画の策定の中で次代のまちの姿を検討します。 |
| 10 | 簡単に使えるスマート農機の普及で、高齢者に優しい農業ができるようになってほしい | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 松山市では、令和５年度に浅海地区などで遠隔操作できる草刈機の実証実験を行い、今後の活用や課題について研究しています。また、興居島の泊地区で、農繁期の人手を確保するため、農業アルバイトのマッチングアプリを活用する勉強会を支援しています。新技術の活用等で、農業をしたい人が長く農業ができるよう、新たな総合計画の策定の中で次代のまちの姿を検討します。 | 企画戦略課総合計画・地方創生担当089-948-6213 |
| 11 | ＡＩを活用してホワイトな働き方ができるようになってほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 松山市役所では、紙をスキャンしてデータ化するシステム「ＡＩ－ＯＣＲ」や、エクセルの入力など定型的な反復作業を行えるソフトウェア「ＲＰＡ」を活用し、職員の仕事を省力化しています。また、企業が生産性を高めるため、ＤＸやＩＴツールの導入などデジタル化に取り組む際の支援をしています。新たな技術の活用で、効率的で一人ひとりにあった働き方ができる次代のまちの姿を新たな総合計画の策定の中で検討します。 |
|  12 | 就職について企業などの必要な情報を取得しやすくなってほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 松山市では、中学生が職場体験学習を行う「まつやまジョブチャレンジ」をはじめとしたキャリア教育や、大学と連携してデータサイエンティストを育成し、地元企業の課題解決に取り組んでいるほか、DXや働き方改革を推進している市内のモデル企業の取組をテレビ番組の放映を通じて紹介しています。また、銀天街の「ジョブカフェ愛ｗｏｒｋ」では、自分らしく働きたい人に企業との出会いや仕事探し、キャリアコンサルティングなどのサービスを提供しています。地元で働くことの魅力が伝わり、松山で働きたいと思う人が増えるよう、新たな総合計画の策定の中で次代のまちの姿を検討します。 |
| 13 | 育休を取らない場合に申請するなど逆転の発想を取り入れて、取得率を向上させるなど、面白い取り組みが松山市から広がってほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 松山市役所は「こどもまんなか応援サポーター」を宣言し、令和７年度までに男性職員の育休取得率１００パーセントを目指しています。先輩パパの育休体験談の共有や、男性が育児に関わることの重要性を学ぶ研修を実施するなど、男性職員が育休を取りやすくするための取り組みを進めています。子ども・子育て支援をはじめ、さまざまな分野で松山市の良い取り組みが民間企業などにも広まっていくよう、新たな総合計画の策定の中で次代のまちの姿を検討します。 | 企画戦略課総合計画・地方創生担当089-948-6213 |
| 14 | 世代に関係なく話し合って自治ができるまちになってほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 松山市では、高校生や大学生などが松山の魅力を発信する「マツワカ」のほか、子どもや若者が自分たちで考えたまちづくりを実践する「まちづくり提案制度」など、主体的にまちづくり活動をする人を応援する取り組みを進めています。また、桑原地区のまちづくり協議会では、学生部や青壮年有志の会が発足し、フリーマーケットを実施するなど、学生や若者を中心とした取組が行われています。世代に関わらず、松山をより良くしたいと思う方が集まり、協働できるよう、新たな総合計画の策定の中で次代のまちの姿を検討します。 |
| 15 | 日頃から町内清掃や秋祭りなど地域との交流を深める機会が増えてほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 松山市では、まちづくり協議会や町内会、公民館などが清掃やイベント等の地域コミュニティ活動を行う際に必要な費用を助成するなど、地域コミュニティのネットワーク構築を支援しています。地域コミュニティの交流が防災や防犯、福祉、地域の魅力創出などさまざまな課題解決につながるよう、新たな総合計画の策定の中で次代のまちの姿を検討します。 |
| 16 | 独居高齢者など災害時に1人で逃げることが難しい人への対応について地域で助け合えるようになってほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 松山市では災害時に一人暮らしの高齢者等の避難行動要支援者の安否確認や避難誘導をスムーズかつ迅速に行うため、消防局や地域の民生・児童委員、近隣協力員、自主防災組織などと連絡を取り合って協力していただくなど、地域で助け合う仕組みづくりを進めています。また、全国に先駆けて「全世代型防災教育」に取り組み、小学生から高齢者まで切れ目なく防災リーダーを育成しているほか、「まつやま逃げ遅れゼロプロジェクト」として、災害に備えて避難行動などを事前に確認する「マイ・タイムライン」や松山市独自の防災アプリなどの周知啓発に取り組んでいます。　いざという時のために日頃から地域で助け合えるよう、新たな総合計画の策定の中で次代のまちの姿を検討します。 | 企画戦略課総合計画・地方創生担当089-948-6213 |

1. 鉄道やバス、タクシーなど多様な交通がつながる集約型の公共交通ターミナルを官民連携で整備するプロジェクト [↑](#endnote-ref-1)
2. インターネットやコンピューター等の情報通信技術を利用できる者とできない者との間に生じる格差 [↑](#endnote-ref-2)
3. 全国の児童・生徒1人に１台のコンピューターと高速ネットワークを整備する文部科学省の取組 [↑](#endnote-ref-3)